

会 議 名	平成28年度第2回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成28年7月28日(木) 午前10時から12時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室A
委 員	(出席者) 鬼沢座長、福吉委員、木原委員、櫻林委員、関根委員、山田委員、大駒委員、谷委員、太田委員、上嶋氏(有賀委員代理)、荒川委員 (欠席者) 森委員、九川委員、島村委員、関本委員
事 務 局	福田係長、藤野、秋元
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶、谷委員自己紹介 1. 報告事項 (1) 委員の変更について (2) 段ボールコンポスト出前講座 開催報告 (3) 「エコライフ・フェアMINATO2016」出展報告 (4) 「第11回ふれ愛まつりだ、芝地区」出展報告 (5) リユース♡ブリッジ 開催報告 (6) 親子向け段ボールコンポスト講習会 開催報告 (7) 「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数 2. 意見交換 (1) 秋のイベントについて(案)
配 付 資 料	[事前配付] なし [席上配付] 資料1 平成28年度港区3R推進行動会議委員名簿 資料2 段ボールコンポスト出前講座 開催報告 資料3 「エコライフ・フェアMINATO2016」出展報告 資料4 「第11回ふれ愛まつりだ、芝地区」出展報告 資料5 リユース♡ブリッジ 開催報告 資料6 親子向け段ボールコンポスト講習会 開催報告 資料7 「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数 資料8 秋のイベントについて(案) [参考資料] ・ 第1回3R実践部会 会議録 ・ 食品ロス削減に向けての取組を進める意見書

主な発言・報告内容

●港区あいさつ

今回はこれまで行ったイベントの報告と、3R 実践部会の内容を踏まえて秋に行うイベントの提案を事務局から行う。

昨年度実施したリユースのブリッジを先日開催し、200 人を超える参加者が集まる盛況なイベントとなった。今後も参加者からのニーズを満たすようなイベントを実施したい。また、7月14日から22日にかけて行われた港区議会第2回定例会において食品ロスについての質問があった。更には追加資料として配布した「食品ロス削減に向けての取組を進める意見書」を、港区議長から国の各省庁に提出された。食品ロス削減について、区民の関心が高いことを改めて感じ、喫緊に取り組まなければならない課題と再認識した。引き続き委員の皆さんから貴重なご意見をいただきながら、食品ロス削減について、取り組んでいく。

1 報告事項

(1) 委員の変更について

●事務局からの説明

日本スーパーマーケット協会の小沼氏が退任されたので、新たに谷氏が委員として参画する。

●谷委員あいさつ

小沼委員と交代で同じスーパーマーケットから出向しており、リサイクルや3Rに関心がある。出港元のスーパーマーケットでも資源の店頭回収量については成果を挙げてきたが、伸び止まりの感じがあり、協会としても行政や地域住民との協力・連携が必要であると感じている。皆さんの意見の参考にしながら、何ができるかを考えていきたい。

(2) 段ボールコンポスト出前講座 開催報告

●事務局からの説明

今年度は、区内のいきいきプラザと連携して、出前講座を複数回実施した。いきいきプラザが主催するカラオケ教室や体操教室のあとに、30分から一時間の短い時間での説明を行った。全部で10回実施し、参加者はのべ236名となった。

講習会と比べ、参加者に近い距離で接することができ、和やかな雰囲気で行った。キットを2/3の大きさにして、値段も300円で販売したことも好評であった。ただ、学童向けの出前講座では、話が少々難しく、参加した児童も途中で飽きてしまう様子も見受けられたため、保護者同伴で実施したほうが効果はあると感じた。

参加した理由については「ごみを減らしたい」と回答した参加者が半数以上おり、事後のアンケートにおいても「参考になった」と回答した参加者が多数いた。ただし、「スペースがない」、「一人暮らしで生ごみが出ない」などの理由で実施できないという参加者もいた。また、「コンポストを知らなかった」などの意見も少なからずあったため、今後も広報にも力を入れる必要がある。

●主な発言

- ・ありすいきいきプラザの参加者が2名だが、アンケートの回答者は6名となっているのは何故か。(委員)
→参加者以外にも、講座を見学していたいきいきプラザにもアンケートを書いている。(事務局)
- ・芝浦アイランド児童交流プラザの出前講座は子どもの参加者が多いが、常時このくらいの数の児童が、施設に集まるのか。(座長)
→学校帰りの児童が、芝浦アイランド児童交流プラザに来ることもあり、常時約100名と多くの児童がいる。(事務局)

(3)「エコライフ・フェアMINATO2016」出展報告

●事務局からの説明

パネル展示やクイズ、食に関する3Rについての行動意識調査を行った。また、ガラポンや風船などを用いて低年齢の来場者もブース内に呼び込み、段ボールコンポストの紹介、食品ロスの紹介パネルを使いながら説明を行った他、古着や廃食用油、使用済小型家電製品などの回収も行った。来場者は全体で約3,100名おり、518名がブースを訪れた。

ブース内で食に関する3Rについての行動意識調査を実施し、大勢の方に参加してもらった。全体を通して区民が取り組んでいる部分、周知できない部分が見え、今後事業を実施するうえで参考になった。

●主な発言

- ・行動チェックパネルも好評で、大人の来場者もシールを貼るのを楽しんでいた。今後行動チェックパネルを実施する場合は、まだその行動を実践していない人が、これから実践してみたい行動や今後実践しますという「宣言」としてシールを貼れるようであればいい(委員)
- ・段ボールコンポストの展示は子どもも関心を示しており、実際に触って楽しんでいた。(委員)
- ・行動チェックパネルのシールを貼る欄が狭かった。ガラポンの列にも近く、周辺が混雑していたため、配置は工夫してほしい。(委員)

- ・展示、チェックパネルがわかりやすく、よかった。古着回収は例年大量に回収を行っていたが、今年は回収量が少なかったため、日ごろから住民が資源回収などに取り組んでいることが実感できた。(委員)
- ・シールを貼る欄や貼るシールが小さく、項目によっては貼る欄が足りなくなっていた。書いている項目も文字が小さく、人によっては説明をしないと内容がわからない人もいた。周辺も混雑していたので、早めにガラポンの列へ誘導するなど、今後も工夫してほしい。(委員)
→今後実施する場合には、もっと大きなパネルを準備するなどして対応する(事務局)
- ・実態調査と、感心を持ってもらうという意味において、シール一つ貼るだけで次の行動に繋がるのはとてもよい。今後のイベントにおいても実施してはどうか。(座長)

(4)「第11回ふれ愛まつりだ、芝地区」出展報告

●事務局からの説明

食品ロスの削減を中心としたパネル展示などを実施し、みなとリサイクル清掃事務所と共催して不用園芸土の回収を実施した。その他に、港区3R推進行動の活動や段ボールコンポスト、リユース食器の紹介のほか、木製割りばしのリサイクルを行った。また、ブースでイベントの予告チラシやミニかわら版、パンフレットなどを来場者に配布して、事業のPRを行った。木製割りばしの回収量は1,004本(約1kg)であり、3膳6本でA4版コピー用紙1枚に換算すると、167枚分に相当する量となった。

イベント前に実施した実行委員会で、木製割りばしの使用を出展した飲食店にお願いしていた。その結果、回収した際にもほとんどが木製割りばしで、竹串や竹ばしの使用は少なかった(事務局)

●主な発言

- ・来年度以降実施する場合は、昨年度の回収量や、相当する資源化量などの成果を載せたほうがよい。目に見える成果でわかりやすい。(座長)
→来年度ブース出展する際に、報告パネルを作成し、区民の皆さんに周知する。(事務局)
- ・近隣の小学校の運動会と開催日が重なってしまったため、子どもの参加者が例年より少なかった。(委員)

(5) リユース♡ブリッジ 開催報告

●事務局からの説明

港区立エコプラザと共催で、子ども服・本の交換会を実施した。ただ服の交換を行うだけに留めないため、参加者が持込む服には事前にメッセージラベルを貼ることで、服を手にとった人への橋渡しを行った。また、当日は飲料を用意して、参加者同士の交流を図ることができなるような工夫も行った。

イベントの述べ参加者数は大人が 136 名、子どもが 77 名、計 213 名となった。また、本の交換点数は、本が 191 冊、服が 530 枚程度となった。どの部においても、多くの参加者がたくさんの衣類の交換を行っていた。また、第二部においては持込の可否に関わらず服を持ち帰れるようにしたが、23 組中 20 組が服を持ち込んでいた。

参加者は 30 代の女性が多く、広報みなどを見て参加した人が最も多かった。参加のきっかけとしては「服をあげたい」、「服がほしい」という理由が多かったが、「他の参加者との交流」についてはあまり回答が多くなかった。参加者同士が交流することについては、今後も検討していく。「今後も参加したい」という意見が多かったことから、今後の継続的な開催を期待する参加者が多かったことがわかった。

痛んでいた、汚れている服が多かったという意見もあったことや、男女別で服を分けて欲しいという要望が多かったことから、今後の実施においてはこれらの意見を反映させ、参加者のニーズにあったイベントを開催についても検討する。おもちゃなどのリサイクルについても要望はあったが、処分する際に資源とならないことから、現時点では実施できない。

●主な発言

- ・汚れている服についての意見があったが、どのような選別を行ったのか。(委員)
→汚れたものについては服を並べる際にチェックしている。エコライフ・フェア MINATO で古着回収を行った際、出された古着の中に子ども服があった場合に、出した方の了承を得て今回のリユース〇ブリッジの交換用の服とした。交換を目的とした服ではなかったため、多少汚れた服があったと思われる。交換会に参加した人が提供した服については、汚れたものは少なかった。(事務局)
- ・どの地域からの参加者が多かったのか。(委員)
→港区全域から参加している。12 月に開催する際は別の場所で開催する。現在、白金台いきいきプラザと調整している。(事務局)
→アンケートにどの地域から来たかの項目を追加し、参加者がどの地域から来たかを分析してもいい。どの地区で実施するのが効果的か、わかるかもしれない(委員)
- ・事前の受付で服を預かる際に、男児用、女児用と合わせて、服のサイズも記入してもらってはどうか。タグが読めないものもあるほか、仕分けの際の事務局側の手間も軽減される。(委員)
→次回実施する際に検討する(事務局)
- ・今回は服は余らなかったのか。(委員)
→ビニール袋で 5 袋程度余ったため、余った分は次回のイベントに活用する。(事務局)

(6) 親子向け段ボールコンポスト講習会 開催報告

●事務局からの説明

家族で取り組む親子向けの講習会を実施し、当日は14組31名の親子が参加した。当日はパペットを用いて港区の清掃事業の説明をするなど、子どもの参加者にも楽しんでもらえるよう工夫した。参加した子ども達も、コンポストづくりの体験などに熱心に取り組み、多くの参加者が「楽しかった」とアンケートに記入した。

●主な発言

- ・小学校2年生、3年生は積極的に参加してくれた。卵の殻をつぶす、かき混ぜるなどの体験は、参加者からの反響がよく、触りたい、体験してみたいという意欲が見られてよかった。段ボールコンポストを知る、いいきっかけ作りとなった。(委員)
- ・参加者は全員親子で参加したのか。(座長)
→全員親子で参加した。比較的小学校高学年の参加者が多かった。(事務局)
- ・学校のPTAが主催するお祭りなど、子どもが集まるイベントでコンポストの紹介をすれば、関心を持ってくれる子どももいるのではないか。他のイベントや行事に重ねるような形で宣伝、周知ができればよい。(委員)
- ・学校からのお知らせで参加した子どもが多かったことと、区内の全部の小学校で案内を配布できたことが、一つの大きな成果である。(座長)

(7) 「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数

●事務局からの説明

イベントの開催告知、イベント中の報告と、イベント後の事後報告をSNSで行っていた。また、3Rに関するイベントのほかに、港区リサイクル清掃事務所の取組なども、写真を含めて一目でわかるような内容を発信している。

●主な発言

- ・継続して周知を行うことが大切である。(委員)
- ・FacebookやTwitterを見て、どのくらいの人がイベントに参加したのか。(関根委員)
→FacebookやTwitterを見たことがきっかけでイベントに参加してくれた人はいない。
広報みなどを見て参加してくれた人が多い。(事務局)

2 意見交換

(1) 秋のイベントについて (案)

●事務局からの説明

○段ボールコンポスト懇談会&ミニポット園芸教室 (案)

- ・段ボールコンポスト出前講座や親子向け段ボールコンポスト講習会に参加した人を中心に、段ボールコンポスト懇談会を実施する。段ボールコンポストを始めた人たちの報告

会や、コンポストでできたたい肥を使った土のリサイクル方法の説明や、ミニポットを使った園芸の実演を行う。

○みなと区民まつりブース出展について（案）

・みなと区民まつりに、港区 3R 推進行動会議ブースを出展し、3R について PR を行う。今年度は食品ロスにテーマを絞り、食品ロスのパネル展示やセカンドハーベストジャパンの取組の紹介、3R に関する映像の放映などを行うほか、リユース・エコルのシールの配布を行う。

○みなと区民まつりリユース食器導入プロジェクト（案）

・リユース食器の貸出しを行い、明治学院大学、慶應義塾大学、東京海洋大学、東海大学の学生にボランティアとして協力してもらう。ボランティアの学生にはリユース食器回収ブースの手伝いのほか、3R 紙芝居を来場した子どもに読み聞かせや、イベントの PR で協力してもらう。

○みんなと 3 R パネル展示会（案）

・10 月の 3R 推進月間中に、3R に関するパネル展示会を実施する。例年、港区本庁舎で実施していたが、今年度は改修工事のため、みなとパーク芝浦で実施する。参加団体は 27 団体程度を予定している。

○事業者セミナー（案）

・今年度の事業者セミナーでは、事業系ごみにおいて厨芥ごみの次に多い紙ごみの削減をテーマに実施する。開催日時をパネル展示の期間とあわせ、相乗効果を狙う。

○リサイクル施設見学会（案）

・リサイクル施設見学会は、昨年度に引き続き、コーヒーの豆かすのリサイクル・飼料化工場を見学する。

○エコ料理教室（案）

・例年「親子向け」と「一般向け」エコ料理教室を開催したが、今年度は「親子向け」エコ料理教室のみを開催する。広報係と連携し、料理教室に参加できない人や若い世代を中心とした幅広い世代に周知をするためにエコ料理の作り方を動画で撮影し、ケーブル TV 及び You tube を使って配信することを検討している。また、戸板女子短期大学との連携についても現在検討している。

●主な発言

・段ボールコンポスト懇談会をリーブラで実施するようだが、エコプラザでは実施できないのか。区民にエコプラザの場所を覚えてもらうためにも、エコプラザで実施できたほうがよかった。（委員）

→段ボールコンポストの講座を、地区を分散させて実施したいという狙いがある。昨年度の親子向け講習会は芝地区のエコプラザで、懇談会&園芸教室は赤坂地区の区民センターで実施した。また、今年度は芝浦港南地区で、親子向け講習会と懇談会&園芸

教室の会場を男女平等参画センター（リーブラ）にした。（事務局）

- ・バス見学会について、複数の施設をバスで周るという意見が実践部会で挙がったが、どうなったのか。（委員）

→昨年度のアンケートでは、午前中で1箇所周るくらいの時間がちょうどよいという意見が多かったため、今年度も1箇所のみとする。（事務局）

- ・段ボールコンポストの感想について、義務化は難しいが、学校教育に取り入れるのは非常にいい。例えば、小学校三年生で全員が段ボールコンポストを実施し、その際に3Rについても学習すれば、大人になってもその知識が残る。（委員）

→港区の小学生は4年生になると社会科学習の一環で清掃車の仕組みを知る機会などもあるので、その際に段ボールコンポストと触れ合う機会を作ればよい。（委員）

- ・みなと区民まつりで実施する食品ロスのパネル展示の際は、「ろすのん」のロゴマークを入れてはどうか。また、セカンドハーベスの取組を紹介すると、利用したいという人が大勢出てくる。その場でどうすれば参加できるかなどを紹介する資料を配布してはどうか。（委員）

→セカンドハーベストジャパンと協力して、内容を紹介したリーフレットを作成してイベントで配布する予定である。（事務局）

- ・みなと区民まつりで実施するリユース食器導入プロジェクトでは、今年度も大学生はおそろいのTシャツを作る予定なのか。大学生がこのようなイベントに参加するのはとてもよい。（座長）

→今年度もTシャツを作成する予定である。学生側にとっても、来場者にリユース食器をPRする際に、言葉遣いなどを気にしながら来場者とやり取りしているので、いい経験になると思う。（事務局）

- ・区民まつりの際に、150gなどの数字は見るだけでは実感しづらい。お茶碗何杯分など身近にわかる数字に例えたり、触る、持つなどのわかりやすい展示があったほうがよい。（福吉委員）

→区民の皆さんがわかりやすい展示を心がける（事務局）

3 その他

●事務局より報告

- ・官学連携についての話を戸板女子短期大学と行ったところ、リデュースのキャラクターについて服飾芸術学科の学生に考えてもらうことや、食品ロスに関わる連携について食物栄養学科の学生と考えるなどの話が挙がった。また、国際コミュニケーション学科の学生については、異文化におけるごみ分別の理解について、連携を行う予定である。連携は11月から実施する予定である。

- ・9/25（日）に開催される、芝浦運河まつりにリユース食器を貸し出すことについて、実行委員会より依頼があった

・街頭啓発の一環で、リユースの着ぐるみを着て、案内入りのティッシュの配布を行っている。芝まつりなどのイベントに出向いて、今後も啓発を行う。リユースが出向けそうなイベントがあれば、情報を提供してほしい。

→港区内の商店街ではこの時期イベントを多く実施しているので、木製割りばしのリサイクルは港区商店街連合会で協力をお願いをしている。(委員)

●第2回3R実践部会

日程調整の結果、11月1日(火)10時より、エコプラザ会議室にて開催する。